

## 5 畜 産

項 目	作 業 内 容
(1) 台風対策	<p>(今月の作業のポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○台風対策</li> <li>○秋バエ対策</li> <li>○暑熱対策の継続</li> </ul> <p>9月は、1年の中でも台風が接近しやすい時期のため、台風情報に十分に注意し、あらかじめ対策を講じておく。</p> <p>ア 事前準備</p> <p>台風情報に注意し、畜舎や堆肥舎等はあらかじめ点検し、施設を補強する等の防風対策を十分に行う。特に開閉部はしっかりと固定し、可能な場合は防鳥ネットを巻き上げておくなど、倒壊や破損が生じないように努める。また、浸水を防ぐため畜舎等の周辺に排水溝を掘るとともに、側溝等の土砂は取り除いておく。</p> <p>停電すると、搾乳作業及びバルククーラー等の運転に支障が出る。発電機等の確保・準備をしておき（リース等も考慮）、所有している場合も含めて試運転を行う。使用方法や駆動時間を確認するとともに、十分な燃料を確保しておく。自動給餌器は、停電時の代替給与方法を探索し、断水の可能性があれば最小限の飲水量を貯水タンク等で用意する。</p> <p>イ 台風通過後の対策</p> <p>台風通過後は高温となるおそれがあり、家畜への暑熱対策を講じる。また、畜舎等が浸水していたらすみやかに排水し、洗浄と消毒を行い疾病等の未然防止に努める。</p> <p>飼料用トウモロコシ等の飼料作物は収穫期を迎える時期である。台風通過による倒伏、折損の被害を受け、回復が期待できないようであれば早急に収穫調製する。調製にあたっては、土砂等が混入しないよう注意する。</p>
(2) 秋バエ対策	<p>晩夏から秋口に発生するハエは、俗に「秋バエ」と呼ばれ、ハエの中でもサシバエが多くなる傾向にある。サシバエは、痛みやストレスとなるばかりか、牛白血病やサルモネラ症等の感染症を媒介し衛生環境を悪化させる。サシバエに吸血された牛は落ち着いて横臥できず、採食量の減少から増体や乳量等も低下するとされる。また、ハエの発生は、近隣からの苦情の原因となるため、大量発生する前に早めの対策を行う。</p>

項 目	作 業 内 容																							
<p>(3) 暑熱対策の 継続</p>	<p>ア 発生源対策（産卵、孵化させない） 給餌器（飼槽）や給水器等の発生源（表1）となる場所の除ふんや清掃をこまめに行う。</p> <p>表1 畜舎別のハエの主な発生源</p> <table border="1" data-bbox="475 510 1385 721"> <thead> <tr> <th>畜舎</th> <th>主な発生源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>牛舎</td> <td>給餌器・給水器周辺、バーククリーナー、堆肥舎等</td> </tr> <tr> <td>豚舎</td> <td>給餌器周辺、スノコ下、ふん処理施設、汚水処理施設等</td> </tr> <tr> <td>鶏舎</td> <td>給餌器周辺、床・ふん板、ふんベルト等</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 幼虫対策 ハエ駆除は幼虫対策を主体とし、成虫対策を併用するのが基本である。特に幼虫は、昆虫成長制御剤（IGR：脱皮阻害剤）の利用が効果的であり、春先と同様に、ハエの発生が予想される前から定期的な対策を心がける。</p> <p>ウ 成虫対策 秋バエは、春に使った成虫殺虫剤への耐性ができていることがあり、殺虫効果が十分でないようであれば別の薬剤を使う。吸血性のサシバエは殺虫誘引剤（ベイト剤）では効果がないため、粘着シート等の使用も考える。また、ハエ成虫の休息場所である畜舎周辺等を除草することも有効である。</p>	畜舎	主な発生源	牛舎	給餌器・給水器周辺、バーククリーナー、堆肥舎等	豚舎	給餌器周辺、スノコ下、ふん処理施設、汚水処理施設等	鶏舎	給餌器周辺、床・ふん板、ふんベルト等															
	畜舎	主な発生源																						
牛舎	給餌器・給水器周辺、バーククリーナー、堆肥舎等																							
豚舎	給餌器周辺、スノコ下、ふん処理施設、汚水処理施設等																							
鶏舎	給餌器周辺、床・ふん板、ふんベルト等																							
<p>朝晩を涼しく感じるようになると、夜間の送風を止めることがある。しかし、日中は依然として家畜の適温域（表2）を超える高温（表3）が予想される。このため夜間送風がないと、家畜の体熱放散が不十分となり、日中に上昇した体温が夜間に下がらず、夏バテが長引く場合がある。</p> <p>最低気温（表3）が20℃程度に低下するまでは（9月中旬～下旬）、家畜の様子を見ながら夜間の送風を継続する。</p> <p>表2 家畜の適温域（三村）</p> <table border="1" data-bbox="933 1406 1385 1617"> <thead> <tr> <th>畜 種</th> <th>適温域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>搾乳牛 (ホルスタイン種)</td> <td>0～20℃</td> </tr> <tr> <td>肉牛(肥育牛去勢)</td> <td>10～20℃</td> </tr> <tr> <td>成豚</td> <td>0～20℃</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3 9月気温平年値[松山] (1991～2020年平均、℃)</p> <table border="1" data-bbox="933 1736 1385 1899"> <thead> <tr> <th></th> <th>上旬</th> <th>中旬</th> <th>下旬</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最高気温</td> <td>30.8</td> <td>29.2</td> <td>27.2</td> </tr> <tr> <td>平均気温</td> <td>26.3</td> <td>24.8</td> <td>22.8</td> </tr> <tr> <td>最低気温</td> <td>22.8</td> <td>21.2</td> <td>19.1</td> </tr> </tbody> </table>	畜 種	適温域	搾乳牛 (ホルスタイン種)	0～20℃	肉牛(肥育牛去勢)	10～20℃	成豚	0～20℃		上旬	中旬	下旬	最高気温	30.8	29.2	27.2	平均気温	26.3	24.8	22.8	最低気温	22.8	21.2	19.1
畜 種	適温域																							
搾乳牛 (ホルスタイン種)	0～20℃																							
肉牛(肥育牛去勢)	10～20℃																							
成豚	0～20℃																							
	上旬	中旬	下旬																					
最高気温	30.8	29.2	27.2																					
平均気温	26.3	24.8	22.8																					
最低気温	22.8	21.2	19.1																					

(畜産研究センター)